

2019年度 第1回 帝京大学医学部附属病院 監査委員会要旨

1. 日時：2019年6月20日（木）13時00分～15時00分
2. 場所：帝京大学医学部附属病院 6階 会議室2
3. 出席者：【委員】寺尾壽夫(委員長)、秦奈峰子(委員)、森唯章(委員)、川村雅文(委員)
【病院側】坂本哲也(病院長)、松野彰(安全管理副院長、医療安全管理責任者)、河内正治(安全管理部長、専従安全管理担当医師)、澤村成史(安全管理担当副院長補佐、医療機器安全管理責任者、インフォームドコンセント管理責任者)、溝田淳(総務担当副院長、診療録管理責任者)、安野伸浩(薬剤部長、医薬品安全管理責任者)、土谷明子(看護部長)、和久正志(事務長・書記)、小笠原后香(診療情報管理部課長、診療録記載改善委員会)、稲垣宏治(総務課長、内部通報窓口担当者)、矢口成美(総務課長補佐、内部通報窓口担当者)、松岡義英(安全管理部)

4. 委員が確認した内容

- (1) ヒヤリハット・アクシデント報告件数の推移
- (2) 高難度新規医療技術評価委員会の活動実績
- (3) 未承認等新規医薬品等評価委員会の活動実績
- (4) 職員に対する研修計画について
- (5) 新入職員に対する研修について
- (6) 医療機器の年間研修計画について
- (7) 医療機器の年間点検計画について
- (8) インフォームドコンセントの手順、統一書式、同席者、診療録記録について
- (9) 手術以外の侵襲的処置に関する説明文書について
- (10) 診療録記載に関して記載方法の統一、点検について
- (11) 手術記録、研修医記録、入院時記録の標準化、効率的について
- (12) 指導医記録、カンファレンス記録の改善について
- (13) 患者相談窓口の機能について

5. 現場視察

病棟にて急変シミュレーションの視察を行った。

6. 監査結果・講評

病院長および各安全管理責任者から説明を受け、また、急変シミュレーションの実際を見学して、医療の安全と質向上の活動が継続的に行われており、特定機能病院としての機能を十分発揮できる体制が一層充実していることを確認した。

今後この体制を維持するとともに、更なる向上に努めて活動を続け、患者にとって安心・安全な医療を行っていただきたい。